



令和8年度 小美玉市立羽鳥小学校グランドデザイン

【本県教育目標】

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性を培う
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力し合う心を育てる

【美野里中学校区小中一貫教育目標】

み:みずから学び(知/主体性)
の:のびやかに成長し(徳・体/協働性)
り:立派な未来を創る(創造性・社会性)

【本市教育目標】

確かな学力とたくましい心もち
郷土を愛する ころ豊かな人づくり

【本校教育目標】

進んで学び 心豊かで
たくましく生きる 児童の育成

【本市学校教育の基本理念】

夢と希望を抱き
自らの明日を切り拓く人づくり

めざす学校像(信頼される学校)

- 児童が安心安全で夢をもって 楽しく学ぶことができる学校
- 教職員が一人一人のアイデアを生かし 支え合い協働できる学校
- 保護者・地域に信頼される地域とともにある開かれた学校

めざす教師像

- 熱意と愛情があり 学び続ける教師
- 意欲的に研修し 授業力のある教師
- 明るく前向きで 協働できる教師

めざす児童像

- 進んで学び 深く考える児童
- 感性豊かで 思いやりのある児童
- 命を大切にし がんばれる児童

保護者・地域の願い

- 確かな学力の定着
- 安心・安全な学校生活
- 集団生活による社会性の習得

【学校経営方針】 キーワード:すべての子どもをすべての教職員で育てる

- 1 全教職員の協働体制を構築し、情熱と向上心をもって、チーム羽鳥で学校教育目標の実現に努める。
- 2 教科指導と生徒指導の一体化を図り、子どもたちが「わかった」「できた」を実感する授業づくりに努める。
- 3 義務教育9年間を見通した連続性のある教育の実現に向け、小中学校の連携・協働を重視した指導に努める。
- 4 家庭や地域と連携・協働し、子どもたちが楽しく安心して生活できる、地域とともにある学校づくりに努める。
- 5 子どもたちと向き合うための時間確保ができるよう、働き方改革を意識した業務改善に努める。

組織目標

「確かな学び、認め合い、たくましい体で未来を拓く羽鳥っ子の育成」
～気づき、考え、やってみる 自ら踏み出す一歩～

やさしさプラン【徳】

【温かい心・認め合い】

自他を認め合い、規律ある生活の中で主体的に行動できる児童の育成

- 基本的生活習慣の確立
- 温かい人間関係づくり
 - ・笑顔で楽しい学校生活(居場所づくり)
 - ・優しく、思いやりのある言葉かけ
- 自己肯定感の高揚
 - ・互いの良さを認め合える心を育てる
 - ・子どもに「任せる」「認める」「励ます」
- 多様性・共生の心の醸成
- 感謝できる心の醸成
 - ・考え、議論する道徳の充実

《数値目標》

- 学校生活に行くのが楽しい 92%以上
- 自分から挨拶ができる 86%以上
- 自分には良いところがある 86%以上

かしこさプラン【知】

【確かな学力・学び合い】

基礎基本を定着させ、思考を可視化することで、自らの学びを深める児童の育成

- 授業改善
 - ・主体的、対話的で深い学びの実現
 - ・思考力、判断力、表現力の育成
- 個に応じた指導の充実
 - ・子どもたち一人一人に合った個別最適な学びの充実
- 特別支援教育の充実
 - ・インクルーシブ教育の推進
- 習熟度、専科授業の実施(社会・理科)
- 家庭学習の習慣化(基礎・基本の定着)

《数値目標》

- 授業がわかる 90%以上
- 家庭学習の習慣化 90%以上
- 学力診断テスト 県平均+2以上

すこやかプラン【体】

【健やかな体・鍛え合い】

自分の体を理解し、生涯にわたり健康で安全な生活を実践する児童の育成

- 体育授業の質の向上
 - ・楽しく運動に取り組む体育学習の充実
- 学校健康教育の充実
 - ・養護教諭との連携及び外部講師の活用
- 食に関する指導の充実
 - ・栄養教諭との連携
- 自己管理能力の育成を目指した健康・安全教育の推進
 - ・危機予測、回避能力の育成
 - ・情報リテラシー、モラルの育成

《数値目標》

- 健康に気を付けている 88%以上
- 給食で好き嫌いをしない 82%以上
- 運動して体力がついている 80%以上

地域との連携 『羽鳥っ子応援団』

- 登下校の見守り
- 学習・学校行事等への支援
- 環境整備ボランティア
- 関係機関との連携

教職員の資質・能力の向上

- ワークライフバランスを大切にしたい働き方改革の推進
- コンプライアンス研修の充実と不祥事根絶に向けた取組